

まちの若い世代が集い親睦交流

あつま新鮮組主催の運動会に約60人が参加し交流を深める

あつま新鮮組（北島誠視会長）主催の『第1回熱血!!運動会』が1月23日、旧富野小学校体育館を会場に開催され、町内の団体・事業等に勤務している人たちが町内在住者など約60人が参加し、ゲーム等を通じて交流しました。

これは、同会の交流事業の一環として、地域の人たちとの交流を目的に町内在住または町内の事業所に勤務する人たちとの交流・親睦を図るため企画したもの。開会式では、北島会長が「若い世代が交流するための企画に大勢の方に参加をいただき感謝しています。けが等に気をつけて楽しんでください」とあいさつ。続いて、来賓の宮坂町長が「このような素晴らしい運動会を企画してくれて感謝しています。若者らしく汗をかいて、エネルギーを出して交流してください」と激励しました。

運動会では、2チームに分かれて「待って待って玉入れ」「バタンパタン」「Jリーグゲーム」「三段綱引き」「全員リレー」の5つのゲームが行われ、参加者は楽しく、時には熱中して汗をかきつつ体を動かし、和気あいあいと交流を深めていました。



旧富野小で行われた運動会の様子

1月のまちの話題

全道スポ少スピードスケート競技大会で厚真SS少年団の3選手が大健闘

今後の活躍も期待しています！



1月16～17日に釧路市で開催された「第38回北海道スポーツ少年団スピードスケート競技大会」で、厚真スピードスケート少年団所属の選手が輝かしい成績を収め1月21日、入賞した3人が指導者の長橋政徳さんとともに役場を訪れ、宮坂町長に報告を行いました。

大会では、赤間朱樹さん（中央小6年）が1500Mで優勝と1000Mで3位に、尾谷駿文くん（中央小4年）が1000Mで6位に入賞、尾谷琴音さん（厚真中1年）が3000Mで6位に入賞しました。

宮坂町長から激励を受けた3人はレースを振り返り、「2種目とも最後で抜くレース展開だったので、次は少しでも先頭に立てるよう頑張りたい。（赤間朱樹さん）、「予選のシングルトラックではタイムが出たが、ダブルトラックでは力を出し切れなかった。次はA級昇格を目指して頑張りたい。（尾谷琴音さん）」、「500Mでも1000MでもD級を取れなかったので、D級を取れるよう頑張りたい。（尾谷駿文くん）」と話していました。

今後の活躍も期待しています！



クイズや獅子舞！こども園つきみで「お正月会」

1月8日、こども園つきみ（宇佐美修一園長）で「お正月会」が行われました。

はじめに、年長のきりん組の園児たちによる餅つきが行われ、その後、先生たちによるお正月にちなんだクイズや劇などが行われました。

そして、最後に獅子舞が登場すると、園児たちはビックリ。中には怖くて泣き出してしまいましたが、先生から「獅子舞は神様のお使いで、みんなの中にある悪い虫を食べてくれますよ」との説明を受け、園児たちは、1年間元気で過ごせるようにと一人ひとり獅子舞に頭をかんでもらっていました。



成人を迎えて新たな誓い 第68回厚真町成人式を挙行

「第68回厚真町成人式」が1月10日、総合福祉センターで行われ、振袖やスーツなどに身を包んだ29人の新成人たちが社会人としての第一歩を踏み出しました。

式典では、佐藤泰夫教育委員会委員長が「社会の一員としてどのような役割を果たしていくべきか、何をしたいのか目標を持ち、しっかり考えて行動してください」と式辞。

また、成人者代表による答辞では、河村章弘さん（軽舞）が「努力と精進を重ね、失敗を恐れず、大きな夢と希望を持って立ち向かっていきます」と力強く述べていました。



式典後、新成人全員で記念撮影



海難事故防止のためまい進 浜厚真救難所出初式

日本水難救済会浜厚真救難所（澤口伸二所長）の出初式が1月24日、鶴川漁協厚真支所前で行われました。式では、所員らが屋外に整列し、出席者による視閲や同救難所監督官の宮坂町長による訓示が行われた後、澤口所長が「訓示を受けて気持ちも新たに、一朝有事の際には初期目的の達成のためにまい進する所存です」と答辞を述べ、所員らは決意を新たにしていました。



交通安全事故ゼロを願い祈願 交通安全祈願祭

町交通安全協会（池川義厚会長）による交通安全祈願祭が1月11日、厚真神社で行われ、同協会会員、自治会、事業所などから約40人が参列し、交通安全事故のない町を願い玉串を捧げました。

祈願後、池川会長が「一人も事故や死亡者を出さない、事故を起こさないを合言葉に今年度も活動を行っていきますので、皆様のご協力をお願いします」とあいさつを述べました。



輝かしい新年の幕開けを祝い 6団体が新年交礼会を開催

町議会、JAとまこまい広域農協、町土地改良区、町農業委員会、苫小牧広域森林組合、町商工会の6団体主催の新年交礼会が1月7日、総合福祉センターで開催され、町内外の団体や企業等から約140人が出席しました。

世話団体を代表して寺坂文秀商工会長が「昨年は、地方創生の取り組みによる地域活性化や子どもの学力向上など良いニュースもあった。厚真の明るい未来を予感させるものと喜ばしく感じている」とあいさつ。その後、各団体等の代表者が鏡抜きを行い、新年の幕開けを祝いました。

各団体等の代表者らによる鏡抜き

北海道新幹線開業 「胆振メモリアルフォトキャンペーン」を実施します

本年3月26日、いよいよ北海道新幹線が開業します。

胆振総合振興局では、胆振地域を「道南と札幌圏」を結ぶ周遊ルート」として、観光客の方々にPRするとともに、地域の皆さんと開業までの日数を数えながらワクワク感を共有し、地域全体で新幹線の開業を更に盛り上げていくことを目的として、皆さんが撮影した写真を募集する「フォトキャンペーン」を実施します。



☆詳しくは、こちらのキャンペーンサイトをご覧ください。

<http://www.iburi.pref.hokkaido.lg.jp/ts/tss/shinkansen/photo.htm>

☆撮った写真を下記に応募すると、抽選で管内のスイーツが当たります。

〈募集期限〉平成28年3月25日（金） ※郵送の場合は当日消印有効

〈応募方法〉①E-mail（メール添付）または②郵送（CD-R等の記録媒体）

上記①または②の方法で、必要事項（住所、氏名、年齢、性別、電話番号）を記載の上、応募。

〈応募先〉①E-mail：iburi.chisei1@pref.hokkaido.lg.jp

②〒051-8558

室蘭市海岸町1丁目4-1 おろらん広域センタービル

北海道胆振総合振興局 地域政策課

「胆振メモリアルフォトキャンペーン ○○部門」あて



屋根からの落氷雪事故などに 気をつけましょう



毎年冬になると、沿道の建物等からの落氷雪による死傷事故が多く発生しています。

皆さんも、冬期間の生活にはご苦労されていると思いますが、冬期間の通行を円滑にし、事故を無くするため、特に次のことにご注意をお願いします。

- ◆落氷雪事故の発生が懸念されるような沿道建物等については、雪止めを設置するようにしましょう。
- ◆既に雪止めが設置されている場合であっても、針金等のさび、老朽化等による破損が原因で落氷雪事故が発生することもあるため、必ず点検し、破損等が発見された際は早急に修繕するようにしてください。
- ◆落氷雪事故は、気温がマイナス3℃からプラス3℃程度のときに発生しやすいという特徴があるため、早めに除雪するとともに、除雪の際には、歩行者や遊んでいる子どもなどに十分注意するようにしてください。
- ◆落氷雪があった場合は、ただちに事故がないか確認するとともに、歩行者の通行の支障にならないように排除してください。
- ◆交通事故および交通障害防止のため、屋根からの落氷雪や敷地内の積雪を道路に出さないようにしてください。
- ◆軒下を通行するときは、屋根からの落氷雪に十分注意するようにしてください。
- ◆軒下や道路では、絶対に子どもを遊ばせないようにしてください。
- ◆ビルの壁、窓枠、突出看板等からの落氷雪は少量でも危険なため、早めに付着した氷雪の除去を行うようにしてください。また、落氷雪の除去の際には、歩行者への十分な安全対策を行うようにしてください。



● 北海道開発局・厚真町・北海道・北海道警察 ●

まちの話題 plus

研修を通じ効果的な学習指導法を学ぶ 小・中学校教諭が教師力アップ研修会



ワークショップで課題づくりを行う教諭ら

1月14日、町教委主催の「あつま教師力アップ研修会冬季研修会」が総合福祉センターで開催され、町内の小・中学校教諭ら約60人が出席しました。この研修会は、教育課題を踏まえた学習指導や学級経営等についての資質・能力の向上を図ることを目的に実施しているもの。

今回は、北海道教育大学釧路校の早勢裕明准教授を講師に招き「授業者の意図を明確にした問題解決的な学習について」と題し講演。早勢准教授は、子どもが自ら課題を見つけ、解決していく力をつけるためのきっかけづくりや働きかけの重要性などを話していました。その後行われたワークショップでは「問題提示から課題の明確化（課題づくり）」をテーマに、グループごとに課題づくりに取り組んでいました。

火災や事故のない1年を願って出初式

厚真消防団と消防署厚真支署の合同出初式が1月6日、総合福祉センターで行われました。

屋内での式典に先駆け、胆振東部消防組合管理者の宮坂町長や来賓、地域住民などが見守る中、78人の職団員と車両12台が厚真市街地を分列行進しました。

行進終了後は総合福祉センターに場所を移し、職団員が宮坂管理者や来賓などの視閲を受け、宮坂町長と木村幸一団長が無火災祈願のくす玉を割り、災害のない町を祈願しました。



厚真市街地を行進する職団員ら

老人クラブと高齢者大学が新年交流会

1月29日、町老人クラブ連合会と町高齢者大学の新年交流会が総合福祉センターで開催され、約190人が参加し交流を深めました。

会では、社会福祉法人富門華会第二富門華寮（安平町）の生活支援員矢農完一さんによる講演と同寮のスマイル4Beatによる演奏会が行われ、参加者らは素晴らしい演奏にじっくりと耳を傾け、耳なじみのある曲に手拍子をしたり大きな拍手を送ったりしていました。

その後、昼食会をはさんで交流会が行われ、両会員らが歌や踊り、吟舞などを披露し楽しいひとときを過ごしました。



スマイル4Beatの演奏に聴き入る参加者

自己ベストや新記録を目指して滑走

第36回町小中学校スピードスケート記録会が1月30日、町民スケートリンクで行われ、町内の小・中学校から42人の選手が参加しました。

冷え込みは厳しいものの晴天に恵まれた当日は、最後に行われた小学・男子2000Mリレーで抜きつ抜かれつの白熱したレースが繰り広げられ、観覧の保護者らから熱のこもった大きな声援が送られていました。

今回は残念ながら大会新記録は出なかったものの、選手たちは、保護者や先生、友だちから大きな声援を受け、新記録や自己ベストを目指して力いっぱい滑走していました。



新記録目指して滑走する選手たち